

図書館だより

2021.6月号



「読みたい本がきっと見つかる！」農芸図書館 発行 2021.6.1

雨の日の憂鬱を吹き飛ばせ



今年は梅雨入りが例年より20日以上も早かったようです…



雨が降ると「頭が痛い」「めまいがする」「体がダルい」「耳鳴りがする」……そんな悩みを訴える「雨ダルさん」は、日本全国に推定 1000 万人いるといわれています。これは、低気圧の影響で自律神経の乱れが原因といわれています。この本は、雨ダルさんが少しでもラクになるためのセルフケアや、薬の効果的な飲み方、生活法などについて詳しく解説しています。

『「雨の日、なんだか体調悪い」がスーッと消える「雨ダルさん」の本』
佐藤純／(著) 文響社



気分爽快？！思わず笑っちゃうこんなタイトルの本はいかが？



なんのこっちゃ？内容が全く伝わらないけど、パンチのあるタイトルですよ。亡き妻のレシピ帖に「私は椎茸だった」という謎のメモを見つけた泰平は、料理教室に通い始めることにするのだが…日常の片隅に起こる「ちょっと怖くて愛おしい」五つの短編で読者の期待を裏切りません。『妻が椎茸だったころ』 中島京子／(著) 講談社



こどもの絵本とは思えない？！衝撃的なタイトルだけど…



タイトルもさることながら、このおどろおどろしい絵はいったい…。とってもやさしかったお母さんが、とつぜん鬼のようになりました。どうしてボクはひとりでナスビを売らないといけないの??? 著者が幼少期に体験した実話を、ノスタルジックなイラストで展開する絵本。親と子に「親の有難さ・子育てとは何か」を伝えています。『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました。』 原田剛／文 筒井則行／絵 ワイヤーオレンジ



世のお父様方！娘に嫌われたくなければ読むべきです！



この本は、娘と接点を見失っているお父さんのためのもの。お年頃の娘と、会話を重ねた3ヶ月にわたる奮闘を描いたものです。途中で妻が乱入、しまいには祖父まで巻き込みシリアスな話も…三世代で繰り広げたバカバカしいくらいマジメなトークは気取らず、気負わず、ひたすらホンネで語りあった意外とためになる一冊。

『お父さんがキモい理由を説明するね』 中山順司／著 泰文堂



日常の見慣れたシーンをここまで意識するとは…さすがだ



五七五の形式を破り自由な韻律で詠む自由律俳句を、妄想文学の鬼才せきしろと、お笑いの奇才「ピース」又吉が多数放出。「雨と冷蔵庫の音に挟まれ寝る」(せきしろ)、「転んだ彼女を見て少し嫌いになる」(又吉直樹)など、センチメンタル過剰で自意識異常な世界が広がる。『カキフライが無いなら来なかった』

せきしろ／(著) 又吉直樹／(著) 幻冬舎

NEW TITLE

農芸高校図書館 2021.6.1 発行 雨の日は気分ものらない？そんなこと言っていないで図書館においでよ！おもしろい本、続々入荷中だよ～

キミの生涯賃金“2億円”を守る！

労働契約の方法

残業代カット！？ボーナス不支給！？
退職金がもらえない！？知らなかった
では済まされない…“労働契約の
落とし穴”対処法とは！？
自分らしい働き方を実現するため
の考え方やヒントがいっぱいです。



真夜中乙女戦争

無気力な日々を送る平凡な大学生の私は「かくれんぼサークル」で出会った
冷酷かつ聡明な先輩に惹かれながらも
人の心を一瞬で掌握してしまう謎の男
“黒服”と運命的な出会いを果たす。
退屈な日々は一変し東京破壊計画に
巻き込まれていく……映画原作本。



人と食事するのが怖い！

会食恐怖症ってなに？？
摂食障害とはちがうの？？
だれかとお飯を食べる時間が近づくと、
“不安”と“恐怖”で“食べられない”
“飲み込めない”“吐き気がする”
本当は楽しく食事をしたいのに、
人と食事ができない私のお話。



産まれてすぐピエロと 呼ばれた息子

「道化師様魚鱗癬
(どうけしようにぎりんせん)」という、
50～100 万人に 1 人の難病に立ち
向かう、親子の話。出産から現在に至る
までの闘病を記したブログは反響を
呼び 3000 人以上のフォロワーがいる。



どっちの勝ち？

大人は「みんなにやさしく」
「けんかはよくない」と言うけれど
現実には甘くない！それは子どもが
一番よくわかっている。イソップ
物語の「アリとキリギリス」
「ライオンとネズミ」「おじいちゃんとヘビ」を
とおして思いどおりにならない世界で生きぬくために、
必要な知恵はなにかを伝えています。



あの懐かしい味の野菜を自分で つくる

茎の根元が赤いホウレンソウ、
青くさい濃い味のトマトやキュウリ…
子どもの頃食べた“本物”の野菜
134品種を紹介。おうちで栽培、
収穫する楽しみを美しい写真と
ともにやさしく伝授。



ぎよらん

人が死ぬ瞬間に生み出す珠「ぎよらん」。
それを噛み潰すと、死者の最期の願い
が見えるという。それがもたらすのは
救いか、それとも苦しみか。
十数年前の雑誌に一度だけ載った幻の
漫画『ぎよらん』。葬儀会社で交錯する
「ぎよらん」を知る者たち。
果たしてそれは実在するのか？



ミステリと言う勿れ①～⑧

主人公の久能整（くのう ととのう）
は一人暮らしの大学生。自宅でカレー
を作っているとある日、警察から呼び
出されて、殺人事件の重要参考人として
取り調べを受ける事に…
事件と悩み同時解決の謎解きコミック
累計 700 万部突破の人気作品です。



だれかの記憶に生きていく

NHK「プロフェッショナル仕事の
流儀」出演で大反響の、おくりびとが
考えた「最期から逆算する生き方」とは…
「ひとからどう記憶されたいのか」
「大切なひとにどんな思い出を
残したいのか」を問い直してみると、
「どう生きるのか」指針が見えてくる。

